



きずな & コロナ

kizuna & covid-19

Writer / きずな推進委員会リーダー 田淵純勝

これまで地域福祉の実践計画として市民の皆さんとつむいできたきずな計画は、第4期の策定を迎えています。コロナ禍のため大勢で集まって意見交換や会議を持つことができず例年よりも難しさがありますが、次の5か年のこの町の福祉がより良いものとなるように、そんな想いを込め皆さんとつくり上げることができればと思います。

ワクチン接種が広がり、この厳しい局面が終息に向かっていくことを願っています。

ひとりの幸せを支え合うまちづくりを目指して 第4期きずな計画策定へ、アンケート調査実施！



▲第1期計画策定時、回答として寄せられた1万件以上のアンケート用紙
これらすべてを分析し計画策定に反映した

登別市地域福祉実践計画（愛称きずな計画）の策定では、市民の切実な声を大切にしてきました。

「住民座談会」と「アンケート調査」は大きな役割を担っています。

住民座談会は各小学校区ごとに毎年開催し、自分の住む地域の課題について語り合い理解を深める場です。地域の課題を共有することのできる貴重な機会として、計画を策定する時だけでなく、きずなの事業を実施していく中でも大切にしてきました。

住民座談会がコロナ禍で開催できない可能性が大きい今回の第4期計画の策定では、アンケート調査を通して「ひとりの幸せを支え合う」ということを考え、皆さんの意見を取り入れることがより重要となります。

17年前の第1期計画策定時には、市連合町内会の全面的な協力のもと約2万世帯にアンケート用紙を配布し、58.2%にのぼる11,138世帯から声が寄せられました。「市民の声を反映した計画策定を行う」というきずな推進委員会の想いは、今も引き継がれています。

プロジェクトチーム始動

大人数での策定作業が難しい今回は、きずな推進委員の代表者4名で構成するプロジェクトチーム（以下PT）を中心に検討を進めていくこととなります。

緊急事態宣言の明けた6月30日、感染予防を行いながら第1回目のPTを開催しました。現在の地域課題を踏まえたアンケート項目の検討、また今後緊急事態宣言等で集まらない時期にもネットを活用してPTを開催することができるよう、その方法についても確認を行いました。（写真右下）

アンケート調査は、日頃地域で福祉活動やボランティア活動に取り組む福祉活動実践者と、市内の福祉事業所に向けた2種類を用意し実施することとなりました。

PTでの話し合いをもとに、7月中旬ごろの発送を目指し準備を進めています。



Kizuna &

地域福祉活動のお悩みは社協まで



社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
〒059-0016 登別市片倉町6丁目9-1
総合福祉センターしんた21内
TEL / 0143-88-0860
web / <https://kizuna-shakyo.jp/>
mail / info@kizuna-shakyo.jp